

令和5年度 大和町議会報告会 質疑応答集

令和6年2月2日（金） 18：30～ 落合ふるさとセンター 参加者8人

Q 1. 報酬改選し柴田町の次になった。特別職の報酬が改定になったが議員だけか？職員の給与、定数も不足しているとあった。大衡村の半導体工場で国際的になってくるので、外国人の受け皿となるよう考えてもらいたい。

A 1. 報酬については新しい議員から30万円に上がった。職員の給与も議会から質問何回もした。大衡村の工場の誘致については、これから見えてくるところである。

Q 2. 議員の定数報酬に絞っていて残念である。プロジェクトの発足した経緯は、議員のなり手不足深刻だった。新聞には兼業禁止の方向にいつているのが気になる。なり手不足で、規制緩和に進んできている。締め付けるような動きはブレーキをかけるようなことである。最初の思いから外れないようにしてもらいたいと思う。

A 2. 兼業兼職について議論していた。まだ報告できる段階にない。団体の長が町の予算を議論する立場にあれば影響力があると考えていた経緯がある。見直しをしていくべきではないかと議論になっているが結論にはなっていない。

意見：予算審議に支障あるなら入らないようにする方法がある。法律上で、許されていることをダメとするのは乱暴な議論になると思う。有用な人材を排除してはいけない。いろんなところで力を発揮してほしいと思っている。解答いらない。

Q 3. 議会活性化調査特別委員会は今後どうするか。

A 3. 議会活性化調査特別委員会は、継続していく方向で議論していきたい。

Q 4. 議会広報の一般質問は、質疑答弁の原稿の抜粋で興味があるのはその後である。伝えた方が良い内容もある。

A 4-1. 質問と答弁で面白くないところが載っているのは確かだ。1時間の中のやり取り面白いが誌面のページ数と文字数も多くなる。

A 4-2. 基本的には議員との答弁だが、ニュアンスは、あの紙面の中では伝えきれない。ネットで直のやり取りに案内するのが広報の全国的な流れになってきている。

2月3日（土）15：01～ ふれあいの杜 参加者35人

Q 1. 40代50代の働き盛りの方が議員になりたいと思える議員報酬にならないか。企業誘致で土台を作ってその果実を刈り取る時期ではないか。働き盛りが議員のなり手がいないのでは。

A 1. 大和町では24万円が27年間そのまま、今回6万アップし30万円にした。市は別だが、町村では30万円は高い方になった。町村議会議員はそれで生活成り立たない。議員報酬が上がった分は仕事で町民に還元するべきと考えている。

Q 2. 投票率低いことに対して議員全員から意見を願う。投票率上げていくように意識を持ってもらいたい。

A 2-1. 投票率アップ重要。全国的に下がっている。30%台もある。議会に魅力がないのか発信するのが大切なのかも。

A 2-2. 投票率は議会でも真剣に取り組んでいる。出前講座で選挙できるように取り組んでいる。若い方がきやすいようにすることも必要。

A 2-3. 全国的な課題。住民との接点を多くする。議会として報告会や子供議会や模擬議会が必要と言われている。議場コンサートで議会に親しんでもらっている。議員の活動や行政の発信だろうと思う。

A 2-4. 投票日のだけじゃなく、議会が身近に感じてもらえるように、町民に寄り添う必要がある。

A 2-5. 議会で町長と投票率アップについて議論した。若者が来やすい雰囲気になるとあった。

A 2-6. 期日前は4日間、杜の丘地区は1日しかない。町のためパフォーマンスではない活動が必要。

A 2-7. 候補者に魅力がない。議会の努力が足りない。言ったことが実現しない。町民にわかりにくいところがある。

A 2-8. 期日前投票でハガキの裏に丸をつけるだけで良くなった。投票割を提案したが実現していない。

A 2-9. 自分が議員になり議員の仕事が分かった。みなさんも分からないことが多いと思う。行政は、分かってもらうこと必要。投票に行かなくても町が回っていると思っているのではないか。

A 2-10. 地区の投票率が低いのは私の怠慢と感じている。数字に興味を持ってもらいたい。頑張る。

A 2-11. 移動の投票所が必要では。何か自分に得したと感じることをやらないといけない。

A 2-12. 選挙で闘争になって、関わりたくないとなっているのではないか。議員がまちづくりにとって大事だと再確認する機会である。選挙が終わっ

たら一つになるんだとしていかないといけない。

A 2-13. 若年層が政（まつりごと）に関心を持ってもらうこと大事。ポイント付与や工夫が必要。

A 2-14. 吉岡、もみじヶ丘、杜の丘が投票率悪い。20歳前後は投票率がいい。歩いて投票所までは遠い。投票率アップに努める。

A 2-15. 30年前は団地が出るまでは70%台だった。振興団地ができるたびに下がってきている。団地の1丁目で1,000人いる。団地の行政区ごとに候補者出してもらえればいい。

Q 3. 町民バスをJCHO仙台病院まで延伸してほしい。富谷の市民バスは黒川病院に行っている。都市計画税は土地評価額で算定される。もみじ、吉岡はたくさん払っている。富谷市では取ってない。都市計画税を団地内に使ってほしい。調整池、看板など。応急処置で2年以上放置されている。公園のベンチ痛んでいる。

A 3. 苦情と要望は持ち帰り執行部側に申し伝えたい。一般質問でも関係議員が要望等続けていきたい。理解願いたい。

Q 4. マニフェスト大賞受賞おめでとう。新聞記事を見て違和感を感じている。不祥事は大和町議会に傷をつけた。選ぶ町民一人一人も反省をしないとイケない。大和町の記事は面白くなく富谷は面白い記事が頻発している。町長を先頭に一致団結して町民の付託に応えられる行政指導をしてもらいたい。

A 4. 議会と町長執行部は呉越同舟というわけにはいかない。議員はそれぞれの考えのもとに責任を持っていく必要はある。新聞に際して申し訳ないが、今は膿を出していると思ってもらいたい。良い大和町を作っていく議員の思いは一緒である。

Q 5. 町議会が見えない。こまめに発信することが必要。視察はいかなものかと思う。過去に視察して、町政に反映しているのがあれば答えてもらいたい。

A 5. 実現したものは、通年議会で年4回の定例会を通年化したのは行政視察で学んだこと。各地区にある子育て支援住宅も実現した経緯がある。デマンドタクシー町民バスも視察で実現した。数限りなくあるので理解願う。

Q 6. 行政視察は物見雄山と取られかねない。

A 6-1. 実現したものやそうでないものもある。行政視察して町に意見している。町の事情の違いから実現しないこともある。議会だよりでは実現したことを書く必要もある。

A 6-2. 県外行政視察を一般質問に活かしている。引きこもりへの取り組みは担当課にも声をかけてもらっている。

A 6-3. 小中一貫教育を行っている市を見学してきた。我が町でも活かせないかと思っている。町や教育委員会に申ししていきたい。

A 6-4. 北海道で道路にスリットが入っているのを視察して町に申し上げた。委員会で揉んで執行部に申し込んでいる。物見雄山は言い過ぎだが、皆さんに分かるようにしないとイケない。

意見：議会だよりの作り方が下手だ。提案して3～5年で提案どうなったか実現したか進行中だとか出せば活動がわかる。質問した結果がどうなったかを出して。

Q 7. もみじヶ丘では子供がみんな出でしまっている。理由はわかっていない。病院は診療所で紹介されるところは仙台市内。黒川病院でも仙台市内を紹介される。防災で民生委員に町では情報をくれない活動できない。バスは六千円、富谷は2万円。敬老会を地元の会館で行っているが満杯。パイがいっぱいで運営が難しい。病院に富谷にくるが黒川郡内してどうしているのか見えない。

A 7. 答えられないところと答えられない部分ある。団地の中の空洞化は全国的に問題抱えている。防災の情報は承知している。全部表に出せない処もある。病院は黒川郡全域としては富谷に持ってきてもらいたい方が多いと思う。黒川病院と客層が違くと個人の見解で思う。提案、真摯に受け止めて頑張っていく。

Q 8. 今日は何人来ているのか。

A 8. 来場者35人来ている。議員は15人、本日1人体調崩している。

2月3日（土）18：30～ 宮床基幹集落センター 参加者9人

Q 1. 投票率を上げるために役場ともみじヶ丘にも不在者投票を設置をお願いに行ったが、ダメだった。不在者投票所は町に1か所しかできないのか？投票率アップにつながるのではないか？

A 1. 選挙管理委員会に1議員として意見を提出した。杜の丘出張所では1日しかないので全日やってほしいとお願いした。

Q 2. 議員報酬は昨年度も意見あった。今日は参加者が少ない。月半ばに回覧板で連絡をしてもらいたい。

A 2. 議会広報誌が年4回定例会の2ヶ月後に発行。報告会は1月1日に全戸配布でチラシを配布している。周知徹底は重く受け止め、行事の周知の方法を検討していきたい。

Q 3. 町長を助けるのも議会議員の仕事である。監査委員はどうなるか？早く決めてもらいたい。

A 3. 新人の町長なので支えていくべきは理解できる。議員は個々の議論を通じて覚悟を持って議場、議会に臨んでいる。その結果が出てきている。ご理解をいただき議員一人一人の考え方があって議決を出している。監査委員は前任者が継続するので空白はない。

Q 4. 議員の兼職が新聞に載っていた。積極的に推進派と慎重派があった。慎重派の意見とやる派の意見を聞かせてもらえれば。お願いして議員になってもらった方もいる。兼職も悪くない。

A 4-1. 私の考えは、結論は早々に急ぐべきではない。2ヶ月後には改選の時期になる。3月に向けて結論じみたことをやると、新しい方の足枷になりかねないと想定している。新しい方に早急に決めてもらいたい。

A 4-2. 兼職について議論している。富谷は禁止している。皆さんとの議論も必要。議論は進めているが決定は次の段階だと思う。

A 4-3. 兼職は悪いことではないと思っている。条例に従って届出している。富谷は市になってから兼職もダメとしている。県内では富谷だけが兼職全て禁止になっている。

Q 5. 前議長の祝辞の問題で調査委員会を立てて調査とあった。議員の内輪で解決できない問題だったのか。新聞で出るのは恥ずかしかった。議員の質が問われる。

A 5. 問題にしたいくない。議会というものは議員の権限において議場において問題提起して結論づける。議会で問題提起されたら特別委員会で調査をし

て方向性を出して行くのが議会である。ルールに則ってやっている。

意見：能登地震ではポケットマネーで義援金を出してもらい感謝する。

2月10日(土) 15:00～ 吉田コミュニティセンター 参加者17人

Q1-1. 前に町議会のあり方の報告と同じだが1年間の動きは?令和3年に宮城大学との懇談会をしているが関係は。

A1-1. 以前に宮城大学の学生と話し合いを行なった。当時はリモートで宮城大学とやりとりした。ここ1年間は。議員とあり方プロジェクトのメンバーと活性化の話し合いをしてきた。

Q1-2. あり方プロジェクトに参加された24名の内訳は。

A1-2. 区長会、消防団や大学、高校の生徒などが参加している。

Q1-3. 公募はなかったのか。

A1-3. コロナ禍で公募に至らず各種団体に推薦をもらった。

Q1-4. パブリックコメントや議会だより広報などで募集し明らかにしていた方がいい。宮城大学、黒川高校生が参加は良い。2年1年もプロジェクトに参加できる仕組みづくりをした方がいい。枠を外して募集しては。

A1-4. 今後の設置まだない。公募した方が良かったと思ったが事情があった。パブリックコメントは2月に報告会を行なった。

Q1-5. 議員で第五次総合計画はどう捉えているか。人口3万人の根拠が薄らいでいるが議会で突っ込んでいない。町民が何を求めているかニーズ目的をはっきりするように求めてもらいたい。

A1-5. ご意見持ち帰って執行部に申し添えたい。人口問題に対しては議員側でも問いただしている。人口減を食い止めるため企業誘致、住宅の確保を議員、議会で執行部に問い正していきたい。

意見: YouTube やインターネット見られるようになり、傍聴席埋めるほど傍聴者が入ること期待する。

Q2. 八志田関組合は用水機能のための堰で対策しないと大雨で大きな問題になる。管理も大変になる。行政が管理して八志田関に委託するとか必要。

A2. 排水や堰の用水を執行部に問い正していきたい。

Q3-1. 猪対策費もらって維持管理してきた。10年間の維持管理で決算報告必要ないとのことであった。維持費が無くなったら環境保全会で維持管理とあった。どうしたらいいか。

A3-1. 維持費は柵を回したのにキロ10万円で地域に支払いした。14年間

で維持管理をしてくださいとの定まりだったと理解している。他の地域でも意見は聞いている。

Q 3 - 2. 環境保全会に委ねるものではないはずだ。

A 3 - 2. 助言程度の話で予算があれば回してもいいとの策であったと思う。

意見：うちの地区も柵を回して、町からキロ10万円もらった。保全会でも認められている。一時金であると思っている。

Q 4. 報酬6万円アップ。足りているか。

A 4. 中学生と小学生いると30万円に上がっても厳しいので、仕事持っている。

Q 5. 区長12年目。この頃後ろについてくる人いない。今まで町内活動してきた方々が、高齢者になってきた。

A 7. わが町の人口も旧村のところは減っている。小学校も複式学級や小規模校になって限界集落に到達している。新しい町長が地域間格差をなくすとあった。

2月10日（土）18：31～ 町民研修センター 参加者9人

Q 1. あり方プロジェクトはこれで終わり？これからの展望は。

A 1. これで議会改革が終わりではない。町民の意見が反映されるようにしていきたい。

Q 2. 去年から地域福祉計画、高齢者福祉計画の見直しがあった。議員は目を通してしているか？議員報酬に見合った活動をしてもらいたい。計画に目を通してもらいたい。議会への問い合わせのメールに意見を出している。

A 2. メールは存じ上げない。計画・政策の内容は全員協議会、本会議で説明されていて理解していると自負している。報酬は、仕事をし、自営業、サラリーマンなど生活の基盤で、この世界に入っていくのが大多数。サラリーと議員報酬を両方もらっている。

Q 3. 議員専業で行うのでは安いはず。他の仕事で議会に出ないは納得できない。

A 3. 議員は特別職で、報酬は公費。議員は公務が最優先と考えて行動するべきだと思う。

Q 4. 町民との懇談会で声を聞いて事業に励んでもらえれば良い。町民の身になって考えてもらいたい。

A 4. 今までも町民の声を聞いてやってきたが、お言葉肝に銘じて町民のために努力していくと誓う。

Q 5. 30万円でも安い。専業では年間報酬はサラリーより下になる。兼業でないとなり手いなくなる。YouTube も見ている。ほらほの先生というのが目立つ。計画を全部読むのは難しい。長期計画読んで理解できる方少ないのでは。町全体を見渡して活動してもらいたい。

A 5. 議員として質疑する際に地域性を出すのではなく街全体を見ろというものであった。各議員肝に銘じて議員活動頑張っていきたい。

Q 6. 議員になる方はボランティア精神ないと議員になれないと思う。3月の選挙大勢の方に来てもらってほしい。大和町全体のことを見てほしいと前から思っていた。道路も議員に頼るが偏見を持ってはいけない。我々に考えられないこと考えて議論してもらいたい。

A 6. ボランティア精神の旺盛な議員が多かった。理解を得ながら進んでいきたい。住みやすい大和町のためであるのでご理解を願う。

Q 7. 他の会場で報告会では、どんな質疑あったのか。

A 7. 全6会場。議会広報で掲載して返答に返させていただく。よろしくご理解のほど。

Q 8. 参加者が少なくびっくり。PRの仕方。議会に対して関心ないのではないかと思う。

A 8. 説明会の開催については、チラシや議会広報で周知を図った。議会に対する関心が広がらなかったのが実情かと思う。皆さんにも関心を持ってもらう議会のあり方。周知の仕方も工夫したい。

Q 9. もっと投票してもらいたい。有権者の人。なんとかならないか。議員として考えることあるか。

A 9. 投票率の低下は我が町だけではない。民主主義社会では深刻な問題。まだまだ若い人がいない。投票率を上げる工夫あるが、何が正解か出ていない。流行りのポイント制とか携帯などにポイント付くとか。意見をもらいたい。

2月11日（日）18：00～ 鶴巣防災センター 参加者16人

Q 1. 政務活動費やほかの手当では。

A 1. 政務活動費12万円。期末手当2回ある。3. 3ヶ月分

意見：今までが安すぎた。

Q 2. 議員報酬27年間変更なし。少しずつ上げることや上げるのが困難だったのか。

A 2. 報酬を上げるにも町民の理解と議会内の議論を経て条例を定めていく。今まで報酬上げないで定数削減してきた。地方議員のなり手不足の解消になればという思いも含めて6万円アップとなった。

Q 3. 立候補する際、若者が歳を重ねた時、何がいちばんの障害になるのか。

A 3. ゼミナールの研究員の話に20万くらいだと生活できない。教育費が足りない。会社の理解が得られない。会社勤めで理解あり休職扱いにならない。国民年金になるとかがネックになっている。

Q 4. 議員報酬の改訂に三役報酬。町長の報酬の結果は。

A 4. 当時の町長から年末に上げる話があったが議員だけの話になった。町長選挙があり、新しい町長は就任したばかりなので同じ金額になったと聞きあんでいる。

Q 5. 議員全員出席しているか。報酬の話で、町長の報酬に対して活動日数あったが、町長の仕事量と日数と比べるとどうかと思う。企業の平均賃金40歳で31万円。30万円くらいは妥当な数字。議員の活動を見て議会だよりしかない。

A 5. 報酬をあげたから活動量を上げて一生懸命頑張っていく。大和町、町民のために暮らしやすい町を作っていくために頑張っていきたい。

Q 6. 議会の活動が見える形に発信しないといけない。催しある時、議員の顔も見えない。町民の話をどう吸い上げているか。

A 6. 全員参加しているので皆心に留めた。町民の声を吸収して議会に反映するとしている。これまで以上に取り組んでいく。

Q 7. 農業離れが顕著である。助成が必要。工業団地ができて経済情勢が良くなったはずだが、豊かな町とは言えない。農外収入に頼っている。

A 7. 国の制度に乗っているところで町単独は難しい。町として農業の整備資金の要綱を作って家族経営の手助けをしている。議会として議員提案する報

告も必要かと思った。頑張っていきたい。

- Q 8. 廃棄物処分場で町長が調印した。議会の承認。区長会の承認を得たという話であった。議会には中身までは報告、打診あったのか？住民に対して説明がないまま搬入路が大平下に作られるので、不満がある。
- A 8. 議会に対して、県から4、5回説明あり、全員協議会でも説明は受けた。区長会や振興協議会への説明会に地元議員が30数回の説明会に出席させてもらった。住民に経緯や経過、進入路の話が無かったのは説明不足があったのではないかと思う。県の説明に極端なことはなく、道筋を進んできたとは思っている。
- Q 9. 説明会には出てきた。大平下の新幹線のところと分からないうちに前町長が調印したところ不満。説明会は何回もあった。地元民の声を吸い上げてほしいのが願い。
- A 9. 思いは議会議員が重く受け止める。住民の30数回40数回に及ぶ説明会があった。搬入路も途中で変わったことは理解してもらいたい。何もしてこなかったわけではない。この問題解決していない。最良の方策見つけていきたい。
- Q 10. 女性の議員が少ないと思う。女の方の意見が出ないと解決できないところある。議会も女性の議員が入ってもらう方策必要でないか。
- A 10. 育児室を設けるとか障がい者でも議員なれるような整備とかの意見も出ている。女性が参画しやすい仕組みづくりをしていく。
- Q 11. 選挙があっても、あり方プロジェクトを踏まえての議会活動の議論はあったのか。
- A 11. 今後も検討する課題あった。これからも継続的にやっていかないといけない。様々な女性登用、女性の議員もあった。議会改革は続けていくという意気込みで進める。
- Q 12. 産廃の搬入路について産廃施設は理解できるが、搬入路は理解できないとしていた。町では容認したが解決しないといけない問題あるとして真摯な対応をお願いした。定員減はサービス低下に繋がらないか心配。
- A 12. 処分場のことは受け止めた。議会は結論をなかなか出せず苦々しいが、議員はその思いは持ったと思う。議員定数は適正人数ない。全国的な平均統計で算定をした。